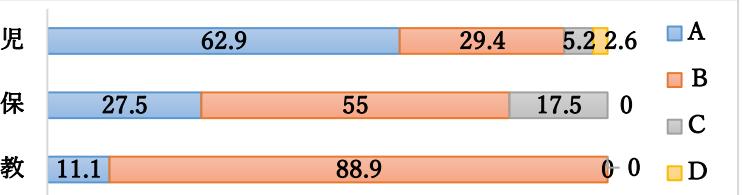
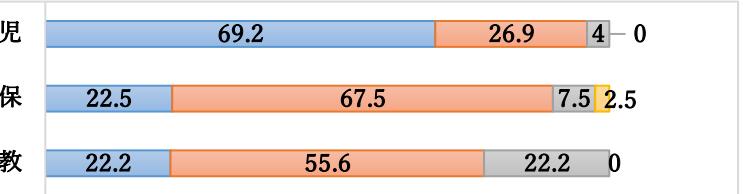
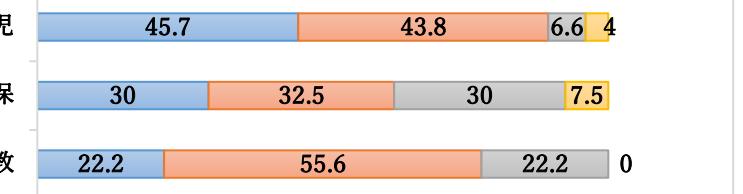
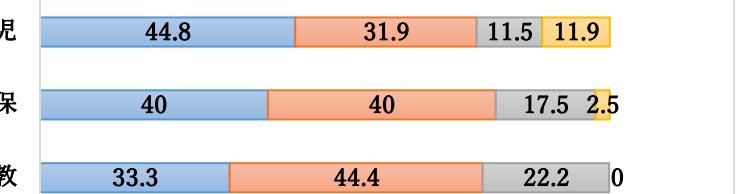
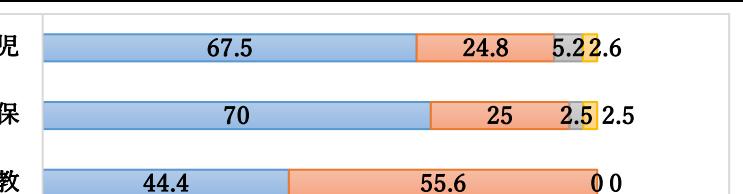
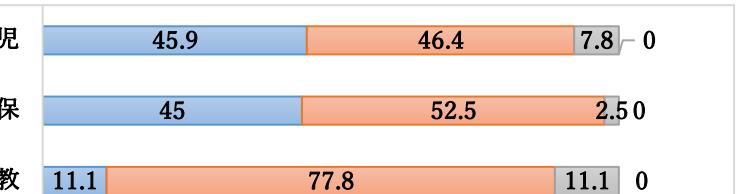


令和6年度 都城市立石山小学校 学校自己評価・学校関係者評価書 <学校自己評価及び学校関係者評価の評価方法 4段階 A：期待以上 B：ほぼ期待どおり C：やや期待を下回る D：改善を要する>

評価項目	評価指標	具体的取組	学校評価アンケート（職員・児童・保護者） 令和6年11月下旬実施 回答数職員〇名、保護者〇名、児童〇名 回答種 (%) A…そう思う B…だいたいそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない	回答者別	総合評価	学校自己評価	学校関係者評価
						評価内容	評価内容
かしこく	1 児童は、授業内容を理解していますか。	○ 主題研究等を通した授業の工夫改善 ○ 教科等を問わず1割のわざびの授業の実践（児童が主役の授業）		児A 保B 職B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもたちが主役の授業」となる学び合いのある授業づくりを通して、主体的に学び、確かな学力を身に付けた児童の育成に努めた。 児童が自分で考える「課題設定の時間」を中・高学年で週1回実施し、家庭学習の充実につなげた。 毎週、キュビナの時間を設定し、繰り返し復習に取り組ませることで、取組率の向上につながった。宿題等での活用により、職員の負担軽減につながった。 図書館サポートによる給食中の読み聞かせや図書館環境の整備により、児童の読書意欲の向上につながった。 個に応じた指導の充実を図る必要がある。 学力向上に向けた主題研究を今後も継続し、授業力向上を図る必要がある。 	A
	2 児童は、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	○ 家庭学習の充実（課題を児童に考えさせる取組）		児A 保B 職B			
	3 児童は、できない問題ができるようあきらめないで練習していますか。	○ 朝の活動等でのAIドリルキュビナの取組		児B 保B 職B			
	4 児童は、家読週間での読書に取り組んでいますか。	○ 図書館サポートや家庭と連携した図書館教育の充実 ○ 読書活動の充実（読書目標到達者80% 低120冊 中100冊 高80冊）		児A 保B 職B			
やさしく	5 児童は、楽しく学校に通っていますか。	○ スクールワイド PBS の考え方をもとにした望ましい行動の育成		児A 保A 職B	<ul style="list-style-type: none"> スクールワイドPBSの考え方を、機会あるごとに伝え、共通理解を図って取り組むことができた。 教育相談を定期的にすることで、児童の困り感を早期に解決することができた。 ウエルビングな学校づくりの取組はとてもいいことである。今後も継続してほしい。さらに、保幼小連携を充実させるとよい。 いじめ不登校対策委員会の取組はとてもいいと思う。継続してやっていってほしい。 登校中に、優しい言葉かけをしている上級年を見かけます。学校での取組が生きているのだと思います。 		
	6 児童は、友達にやさしく、思いやりのある態度で接していますか。	○ いじめ不登校対策委員会の充実 ○ 教育相談の定期的実施 ○ 全校朝会での講話の充実 ○ あたたかいことばを集めようの木の実践（児童同士の啓発）		児B 保B 職B			

やさしく	7 児童は、自分から進んであいさつや返事をしていますか。	○ あいさつがんばり週間（全職員による見届けと称賛シール）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>53.6</td> <td>45.2</td> <td>1.3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>35</td> <td>57.5</td> <td>7.5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>11.1</td> <td>88.9</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	児童	53.6	45.2	1.3	0	保護者	35	57.5	7.5	0	教師	11.1	88.9	0	0	児A 児B 児C 児D	B	○ 全職員による見届けと称賛シールの取組により、自分からあいさつをする児童が増えた。 ○ 日常指導、重点指導により廊下歩行・トイレのスリッパ並べ方が向上した。 ○ 石山商店街（模擬販売体験活動）により、児童の自主的な取組につながった。意欲・態度面の向上が見られた。 ● 規範意識の定着では、繰り返し、継続して、全職員で取り組んでいく必要がある。	A
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
児童	53.6	45.2	1.3	0																							
保護者	35	57.5	7.5	0																							
教師	11.1	88.9	0	0																							
8 児童は、自分から進んで学校のきまりを守っていますか。	○ 廊下歩行・トイレのスリッパ並べ月間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>45.7</td> <td>41.3</td> <td>11.8</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>35</td> <td>57.5</td> <td>5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>22.2</td> <td>77.8</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	児童	45.7	41.3	11.8	1.3	保護者	35	57.5	5	2.5	教師	22.2	77.8	0	0	児B 児C 児D				
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
児童	45.7	41.3	11.8	1.3																							
保護者	35	57.5	5	2.5																							
教師	22.2	77.8	0	0																							
9 児童は、特別活動の充実により課題解決に向けて取り組む態度は育っていますか。	○ 係活動・委員会活動・クラブ活動における児童の自主的な取組 ○ 石山商店街（模擬販売体験活動）の取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>71.5</td> <td>23.3</td> <td>5.3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>37.5</td> <td>52.5</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	児童	71.5	23.3	5.3	0	保護者	37.5	52.5	10	0	教師	0	100	0	0	児A 児B 児C 児D				
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
児童	71.5	23.3	5.3	0																							
保護者	37.5	52.5	10	0																							
教師	0	100	0	0																							
たくましく	10 児童は、外で遊んだり、進んで運動したりしていますか。	○ 外遊びの奨励 ○ 運動環境の充実 ○ 運動月間(なわとび・一輪車・竹馬)の設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>69</td> <td>24.5</td> <td>4</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>22.2</td> <td>77.8</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	児童	69	24.5	4	2.6	保護者	45	40	15	0	教師	22.2	77.8	0	0	児A 児B 児C 児D	B	○ 運動月間の設定により、児童の運動意欲の向上につながった。 ○ 運動環境の充実により、外遊びをする児童がほとんどである。 ○ 全校朝会の講話によって、立腰意識の高揚につながった。 ○ 中学校の栄養教諭を招いての食育授業は、「食べる力」＝「生きる力」を育む機会になった。	B
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
児童	69	24.5	4	2.6																							
保護者	45	40	15	0																							
教師	22.2	77.8	0	0																							
11 児童は、座っているとき、立腰の姿勢ができていますか。	○ 全校朝会の講話による立腰意識の高揚 ○ 立腰週間の設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>28</td> <td>43.3</td> <td>23.6</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>10</td> <td>70</td> <td>12.5</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>11.1</td> <td>66.7</td> <td>22.2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	児童	28	43.3	23.6	5.2	保護者	10	70	12.5	7.5	教師	11.1	66.7	22.2	0	児A 児B 児C 児D				
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
児童	28	43.3	23.6	5.2																							
保護者	10	70	12.5	7.5																							
教師	11.1	66.7	22.2	0																							
12 児童は、自分で決めた量の給食を残さず食べていますか。	○ 食育の充実（栄養教諭を招いての食育授業） ○ 学担による給食指導の充実	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>62.8</td> <td>24.4</td> <td>10.3</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>90</td> <td>7.5</td> <td>2.5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>44.4</td> <td>55.6</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	児童	62.8	24.4	10.3	2.7	保護者	90	7.5	2.5	0	教師	44.4	55.6	0	0	児A 児B 児C 児D				
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
児童	62.8	24.4	10.3	2.7																							
保護者	90	7.5	2.5	0																							
教師	44.4	55.6	0	0																							
いきいきと	13 PTA活動など学校と家庭・地域との連携が図られていますか。	○ 学校運営協議会の充実 ○ 読み聞かせボランティア・紙芝居ボランティアの活用 ○ Sigfyの活用	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>52.5</td> <td>47.5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>44.4</td> <td>44.4</td> <td>11.1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	保護者	52.5	47.5	0	0	教師	44.4	44.4	11.1	0	保A 保B 保C 保D	A	○ 学校運営協議会で、よりよき学校にするための議論をし、学校運営に生かすことができた。 ○ Sigfyの活用により、スムーズな伝達やペーパーレスにつながった。	A					
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
保護者	52.5	47.5	0	0																							
教師	44.4	44.4	11.1	0																							
14 学校便り・定期的な学校便り・保健だより・学級通信の発行	○ 定期的な学校便り・保健だより・学級通信の発行 ○ 定期的なホームページの更新	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>A (Blue)</th> <th>B (Orange)</th> <th>C (Grey)</th> <th>D (Yellow)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>60</td> <td>35</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>66.7</td> <td>33.3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)	保護者	60	35	5	0	教師	66.7	33.3	0	0	保A 保B 保C 保D	○ 各種通信、ホームページ等で教育活動の様子を発信することにより、家庭や地域の理解や協力を得ることにつながった。 ● 情報発信を全職員でさらに啓発していく必要がある。								
Category	A (Blue)	B (Orange)	C (Grey)	D (Yellow)																							
保護者	60	35	5	0																							
教師	66.7	33.3	0	0																							